



研究主題

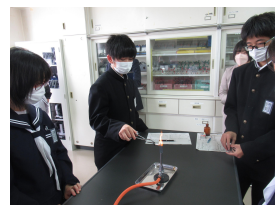
『カリキュラム・マネジメントを活かした主体的な学びの創造』

～社会に開かれた教育課程づくりと一人一人の自己表現を基盤にした課題発見・解決学習～



令和4年度尾道版「学びの変革」推進事業
令和4年度尾道教育総合推進計画支援事業指定校
(不登校児童生徒支援充実指定校)

尾道市立日比崎中学校 実践発表
研究主任 風盛文哉



本日は研究授業へのご参加ありがとうございました。私研究主任の風盛が本校の実践を発表します。よろしくお願いいたします。

はじめに、本校の研究主題である

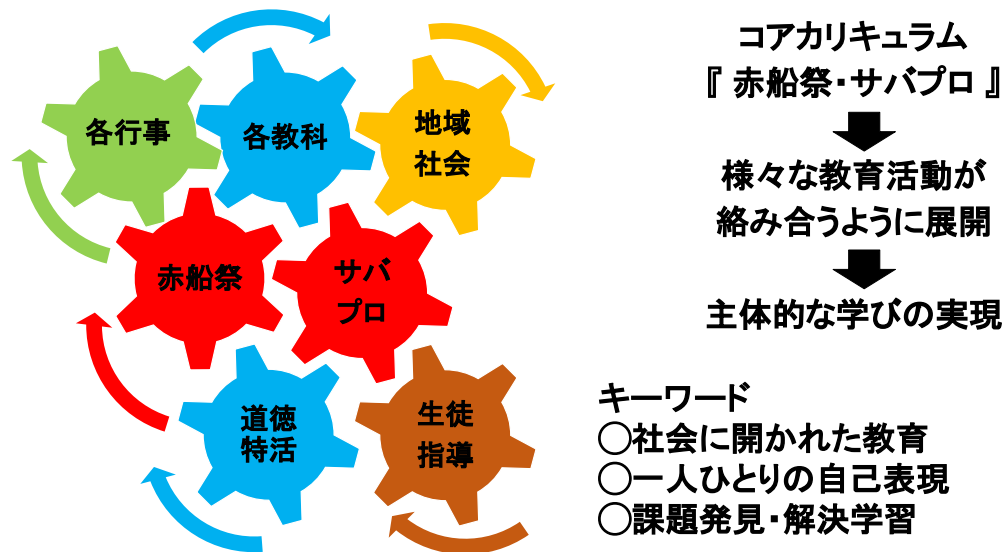
『カリキュラム・マネジメントを活かした主体的な学びの創造』

～社会に開かれた教育課程づくりと一人一人の自己表現を基盤にした課題発見・解決学習～

に関わる取組を紹介します。本日の内容はカリキュラム・マネジメントの考えに基づいて

作り上げてきた教科・領域などの教育活動の実践について発表します。

1 本校の考えるカリキュラムマネジメント



まず、カリキュラム・マネジメント(略してカリマネ)という言葉は色々なところで聞かれるようになりましたが、

本校では、次のようなつながり合う歯車として考えて教育活動を行っています。この1つの1つの歯車が回ることによって、他の歯車が回り、教育活動が絡み合い進んでいくイメージです。

また、この歯車の位置にも意味を持たせています。

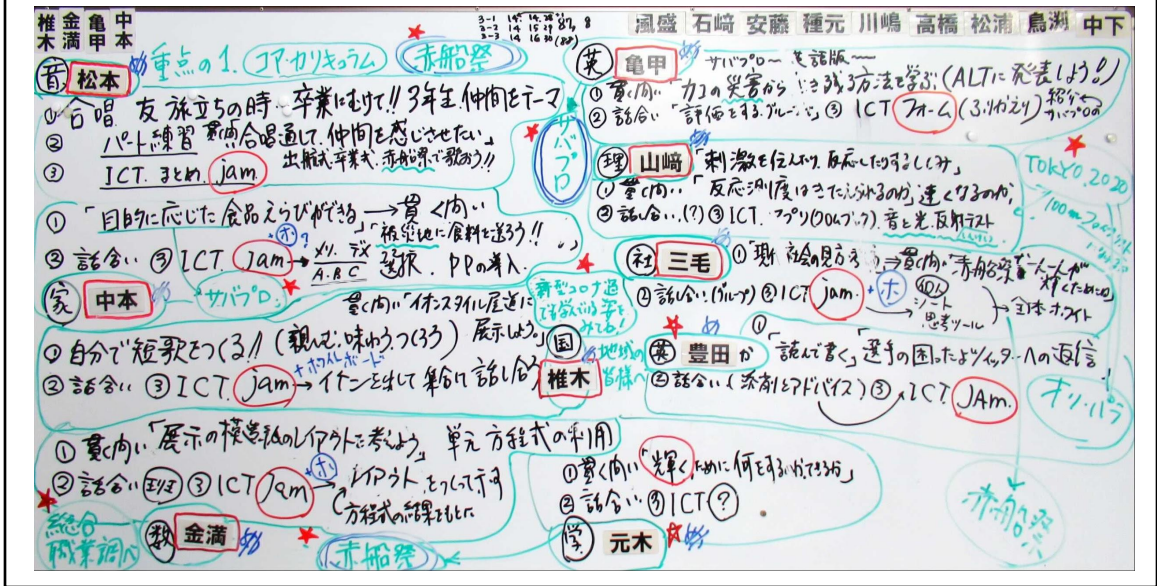
赤い歯車に注目してください。

この学校行事、赤船祭と総合的な学習の時間、防災学習である日比崎サバイバルプロジェクト(通称サバプロ)を本校のコアカリキュラムに設定し、年間を通じてこの2つをカリキュラムの核として進めています。

本日は、この歯車ごとに実践を紹介していきますが、歯車同士が絡み合っていることをイメージしながら話を聞いていただければと思います。

2 カリキュラムマネジメントの具体

・校長室のWB





これは、昨年の公開研の時の校長室にあるホワイトボードです。このホワイトボードでは、「解きたくなる課題設定」と「単元を貫く問い」そして「ICTの活用」について分類したものです。

各授業者が赤船祭やサバプロ、地域との連携、各教科・領域の融合を意識して単元開発を行い、各授業者がカリマネの考えでつながっています。

3 コアカリキュラム

赤船祭

サバプロ

赤船祭 (学校行事)	サバプロ (総合的な学習の時間)
<ul style="list-style-type: none">・体育競技の部(1学期)・文化的発表の部(2学期)・生徒会執行部による運営 	<ul style="list-style-type: none">・防災学習・学習内容をリーダーが企画・理論や体験の学習 

生徒主体 & 地域との連携

ここからは、それぞれの歯車の実践を紹介していきます。まず、コアカリキュラムに設定している赤船祭とサバプロです。

赤船祭は学校行事で、一般的には体育大会や文化祭と呼ばれているものです。本校では、この2つの行事を別々のものではなく、赤船祭という一つの単元で捉え、生徒会執行部が運営していくことで、系統性のある取組にしています。

右側はサバプロです。これは総合的な学習の時間で防災学習をテーマにした取組です。学習内容をリーダーが企画し、理論や体験学習を行っています。今年度はプロジェクト型学習として指導案を整備したいと考えています。

どちらも生徒主体や地域との連携がテーマになっています。



では、赤船祭をイメージできる動画を御覧ください。
こちらは、今年の赤船祭体育競技の部の応援合戦の様子です。生徒が内容を考え、生徒が主体的に取り組んでいる姿です。

4 道徳の取り組み

道徳
特活

○赤船祭と関連づく内容項目

- 1学年:個性の伸長・お互いの良さに気づき伸ばす
- 2学年:よりよい学校生活の充実
- 3学年:日比崎中学校の伝統の継承

○広島大学 宮里智恵 教授を招聘

- ・ワークシートを活用した授業づくり
- ・心情曲線を用いた発問の精選

○道徳の授業公開

- ・各学年指導案を作成し、授業実施予定



生徒たちは現在、今月末に行われる赤船祭文化発表の部に向けて頑張っています。

次は、道徳の歯車を紹介します。道徳では、通常の指導に加え、赤船祭と関連づく内容項目を学習しました。

各学年によって、より効果的であろう内容項目を設定し、赤船祭の体験と重ね合わせて自らを見つめていきました。

また、広島大学の宮里ともえ教授を招聘し、継続的にご指導をいただいています。写真は夏休みの研修の様子です。

内容としては、ワークシートを活用した授業づくり講座、心情曲線を用いた発問の精選を学んでいます。

そして、研究の実践の場として、道徳の授業公開を設定しています。

各学年指導案を作成し、11月2日に授業を実施する予定です。

5 学活の取組み①

道徳
特活

○議長団の運営による話し合い活動(4年目)

- ・学級目標の設定
- ・個人目標の設定
- ・赤船祭に向けて など

○学校サポート事業を活用



次は学活についてです。本校では、議長団の運営による話し合い活動にこれまで取り組んできました。

赤船祭に向けての取組、学級や個人で目標を設定するときなどに、話し合い活動を実施し、集団の合意形成や個人の意思決定を行っています。

左の写真は議長団が進行をする様子、右の写真はchromebookやホワイトボードを使って話し合いを進めている様子です。

これまでの4年間、教育センターの学校サポート事業を活用し、継続的に研究を進めています。

先月行った研究授業では、話し合い活動のトレーニングを事前学習で取り入れる内容で、新規性のある授業が提案されました。

6 特活の取組み②

○話し合いの型 日比中授業スタイル

- ・ホワイトボード, 短冊, chromebook
- ・メロンカード, オレンジカード

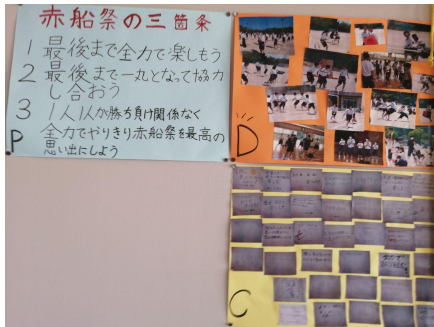
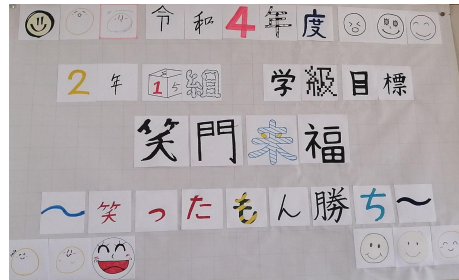


こうした実践の中で、話し合いの型 日比中授業スタイルが確立してきました。ホワイトボードや短冊, chromebookなどのコミュニケーション・ツールの活用。メロンカードやオレンジカードを活用した話し合い内容の視覚化です。

7 特活の取組み③

○学びの足跡を振り返る取組み

- ・PDCAサイクルを意識
- ・学級目標の掲示作成
- ・学級通信



赤船祭の成長

赤船祭を通して、クラスの目標3か条を決めて取り組みました。2週間という短い練習期間でしたが、一人一人が意識し、直前には3つの目標全てにおいて、90%を超える人が達成感を持つことができました。課題であった、大きな声と反応は、日ごろの生活でも活かす場面がたくさんあります。この赤船祭で得た成長を、ぜひ続けていってください。



行動目標	前半	中盤	直前
1. メリハリをつけ、大きな声を出す！	64.5%	79.4%	91.4%
2. 先輩の支えとなり、後輩の手本となるため、反応を良くする！	74.2%	70.6%	94.3%
3. 全力で楽しみ、笑顔を絶やさない！	83.9%	94.1%	97.2%

表. よくできた・できたの人数の割合

話し合い活動が単発の学習ではなく、継続的な取組になるように、事後指導も意識しています。

左の写真は、生徒の活動をPDCAサイクルを意識したものにさせる掲示物
右の写真は、学びの足跡を振り返るための掲示物や学級通信です。

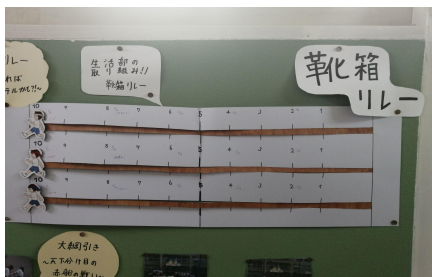
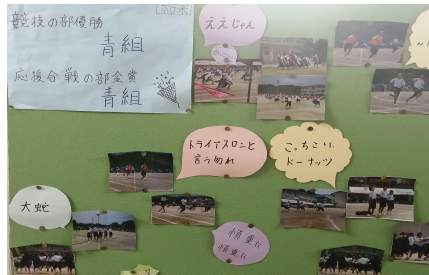
8 生徒指導の取組み① 積極的な生徒指導



○赤船祭と連動した委員会活動

- ・靴箱リレー
- ・イッテプロジェクト
- ・広報部の掲示物

○生徒が運営する行事



次は、生徒指導の歯車についてです。ここでいう生徒指導とは積極的な生徒指導を考えています。

この2枚の写真は、赤船祭と連動した委員会活動の様子です。美化部の靴箱リレーや広報部の校内の掲示板の作成があります。

右の写真は、赤船祭の練習で、練習の時から生徒が前に出て運営を行っている様子です。

日頃から生徒が主体となるための、種まきをすることで、自尊感情が高まり、問題行動の予防になるとも考えています。

9 生徒指導の取組み② 不登校対策

生徒
指導

○不登校児童生徒支援充実指定校の取組み

- ・別室での個別学習
- ・家庭からオンライン授業参加
- ・授業アシスタントの活用



次は、生徒指導の中でも不登校対策に関わる実践です。

本校は今年度不登校児童生徒支援充実指定校となっており、不登校対策に力を入れています。

具体的には、別室を活用し、教室に入りにくい生徒が個別学習できる環境を整えています。

まだ、整備は途中の段階ですが、左の写真のように、教室を4つに仕切り、個別に対応できるようにブースを作っています。

また右の写真は、授業アシスタントを活用し、教室での授業を別室や各家庭に配信している様子です。

不登校生徒やコロナ関連で欠席した生徒への、オンライン授業が可能になっています。

10 地域社会との連携

地域
社会

- イオンやU2とのコラボ
- ・国語科の制作物掲示

- キャリア学習
- ・村上記念病院による出前授業

- EXILEとの授業コラボ
- ・体育科のダンス授業

- サバプロ
- ・尾道市防災課からのリーダー指導



次は地域社会の歯車です。

イオンやU2など地元企業とコラボを行っています。この左の写真は国語科の制作物をU2に展示させてもらっているところです。

また、ニュースになり一躍話題になりましたがEXILEとコラボした、体育科のダンス授業があります。

またキャリア学習として村上記念病院から出前授業を実施しています。

サバプロでは右の写真のように尾道市防災課をお招きし、専門的な見地からリーダー指導をしていただきました。

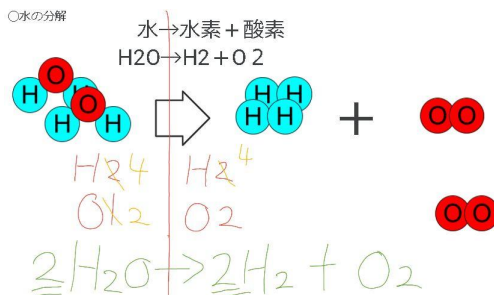
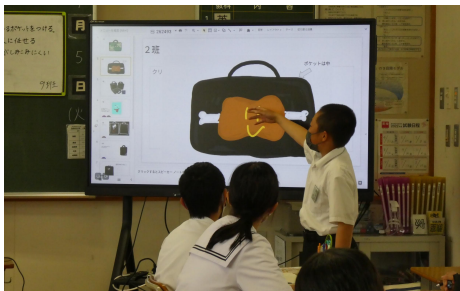
11 各教科の取組み① デジタル機器の活用

各
教科

○デジタル機器を活用した研究授業

- ・家庭科 ～デザイン機能性に優れたタブレットケースの作成～
- ・chromebook活用の実践的な研修

○様々な授業でアプリや電子黒板を効果的に活用



ここからは、各教科の歯車、日々の授業研究に関わる取組を紹介します。
全国的にデジタル機器の活用が進んでいますが、本校でも、デジタル機器の活用
力を入れています。

具体的にはデジタル機器を活用した研究授業を行いました。

これは、家庭科でデザイン機能性に優れたタブレットケースを作成しようという内容
の授業です。

左の写真はジャムボードで今のタブレットケースの問題点を整理し、描画アプリ上で
考えたタブレットケースの案を説明している様子です。

尾道市教育委員会の指導主事からchromebook活用の具体的な方法を教えていた
だきました。

また、様々な授業でアプリや電子黒板を効果的に活用しています。

右の写真は理科で化学反応式を作る際にジャムボードを使って説明している様子で
す。

12 各教科の取組み② 本質的な問い

各
教科

○広島大学 永田 忠道 准教授を招聘

- ・各教員が「単元構想シート」を作成し、内容を交流
- ・本質的な問いや単元を貫く問いについて指導助言

【単元構想シート】所属・作成者（ ）

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

校種・学年 教科等 単元（題材）名

① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

② 単元を貫く問い（単元を通して考え深めていく「問い」）

③ 個別の問い（単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）



また、本質的な問いに関わる研究も行っています。

本日ご指導・ご講演をいただく広島大学永田ただみち准教授を招聘し、夏休みに研修を行いました。

学びの変革 単元構想シートを各教員が自分の教科で1人1枚作成し、交流しました。

本質的な問い、単元を貫く問い、個別の問いを整理することができました。

13 各教科の取組み③ 本質的な問い



10月5日 日比崎中学校公開授業の講想

<p>石城 国語: 単元「故郷」～45分で分る魯迅の「故郷」～</p> <p>1. 貫く問い: イントロダクション 「パフォーマンス」発表会</p> <p>2. 本質的な問い: どの「こと」が文学的な文章を「読む」に大切か?</p> <p>3. ICT: おえがきソフト</p> <p>山崎 理科: 単元「運動とエネルギー」 「1次判断」→「2次判断」</p> <p>1. 貫く問い: 12x6は2のターゲットマーカーはなぜ「単子」なのだろうか?</p> <p>2. 本質的な問い: エネルギーは世の中をどう変えてきたのだろうか?</p> <p>3. ICT:</p> <p>椎木 国語: 単元「言葉を持つ鳥」シンクウカ 「パフォーマンス」+2つの単元</p> <p>1. 貫く問い: 文章に説得力を「持たせ」るには、筆者はどのような工夫を込めたか?</p> <p>2. 本質的な問い: 説得力のある文章とは、どのようなものだろうか? 発表会</p> <p>3. ICT: Jamboard, Google スライド</p> <p>松原 英語: 単元「Unit 6. A Speech about My Brother」 「パフォーマンス」</p> <p>1. 貫く問い: 外国で身近な人やものなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを相手に分かりやすく伝えるには、どうすればよいだろう? 発表会</p> <p>2. 本質的な問い: 言語文化の異なる他者と外国語でより良いコミュニケーションを図るには、どのようなことが大切か? →</p> <p>3. ICT:</p>	<p>元木 学活: 赤船祭にむけた話し合い 「コアメッセージ」赤船祭</p> <p>1. 貫く問い: クラスとして、学年として何を伝えたいか、どのような気持ちを伝えたいか。</p> <p>2. 本質的な問い: 課題 追究 課題</p> <p>3. ICT:</p> <p>末森 社会: 単元「中世の日本」 設定 → 教科書 → 総括</p> <p>1. 貫く問い: 室町時代の「歴史」にどのような影響を与えたのだろうか?</p> <p>2. 本質的な問い: 自分たちは「史」から何を学んでいるのだろうか?</p> <p>3. ICT:</p> <p>金子 数学: 単元「平行と合同」</p> <p>1. 貫く問い: 言葉で合同な図形を説明する</p> <p>2. 本質的な問い: 他人に分りやすく、合同と説明形はどのように伝わるか?</p> <p>3. ICT:</p> <p>大塚 保健: マット運動 「パフォーマンス」(演技発表会)</p>
---	---

- ・各教科の関連性
- ・新たな日比崎授業スタイルの開発

研修では経験年数や教科関係なく意見を出し合い、議論を重ねる中で問いを吟味し、修正しました。

ここに示すのは、今年の校長室のホワイトボードで本日の授業者が考えた、本質的な問いや単元を貫く問いを整理したものです。

お互いの授業を知ることで、各教科の関連性に気がついたり、新たな日比中授業スタイルの開発につながりました。

14 日比中授業スタイル3つの単元パターン ～導入パフォーマンス型～

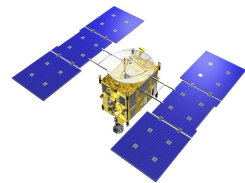
例:理科 山崎教諭の本単元

- 1次 パフォーマンス課題に挑戦(経験・既習事項)
- 2次 必要な知識を習得
- 3次 パフォーマンス課題を解決(科学的な能力)



理科

- 1次 問い:なぜターゲットマーカーは弾まないのだろうか。
- 2次 ①位置エネルギー
②運動エネルギー
③力学的エネルギーの保存 など
- 3次 解決:なぜターゲットマーカーは弾まないのか
科学的に説明できる。



ここからは、本日の授業を例に、日比中授業スタイルを3つの単元パターンで紹介し
ます。

命名は、まだ検討している途中ですが、まずは、導入パフォーマンス型です。

理科の山崎教諭の本単元をのせています。

この授業は、大きく分けて3次で構成されています。

1次はパフォーマンス課題に挑戦

2次は必要な知識を習得

3次はパフォーマンス課題を解決です。

具体的に中身を話しますと、まず1次の導入で惑星探査に用いられる、ターゲット
マーカーはなぜ弾まないのだろうか。

という課題に対してこれまでの経験や既習事項から生徒が説明します。

ここでは、あえて解けない課題を与え、自分たちに知識が必要であることを実感させ
ます。

そして、2次で課題解決に必要な、位置エネルギーや運動エネルギーなどの知識を
獲得し、3次の終末で知識がつながりあうことで、課題を解決できる流れとなってい
ます。

このようなスタイルは、導入時にパフォーマンス課題を与え一次判断をさせた上で単
元が進んでいくため、

導入パフォーマンス型と呼んでいます。

15 日比中授業スタイル3つの単元パターン ～終末パフォーマンス型～

例:国語科 石堀教諭の本単元

- 1次 成果物や発表会などゴールイメージを持つ
- 2次 必要な情報収集・整理分析
- 3次 まとめ・表現・発表



- 1次 ブックイントロダクションに向けて ～魯迅の故郷～
- 2次 ①構成を捉える
②心情や考えの整理
③登場人物の変化を分析 など
- 3次 ブックイントロダクションの発表会実施



次は終末パフォーマンス型です。例として、国語科の石堀教諭が開発した単元です。

1次では、終末に成果物や発表会などを開催することを伝え、ゴールイメージをもたせます。

2次では、ゴールに必要な情報収集や整理分析を行います。

3次では、成果物や発表会など、まとめ・表現・発表の場を設定します。

この授業では、1次で最終的に魯迅の故郷を教材にして、ブックイントロダクションの発表会を行うことを示します。

2次では、物語の構成を捉える活動、心情や考えを整理する活動、登場人物の変化を分析する活動が行われます。

終末では、ブックイントロダクションの発表会を実施する計画となっています。

こうしたスタイルは、単元の終末にパフォーマンス課題というゴールを与え、そのゴールを目指して単元が進んでいくため、終末パフォーマンス型と呼んでいます。

16 日比中授業スタイル3つの単元パターン

～課題設定・解決型～

例:社会科 末森教諭の本単元

- 1次 単元を貫く課題を設定
- 2次 必要な知識や情報を習得
- 3次 単元を貫く課題を解決



- 1次 問い:室町時代は現代社会にどんな影響を与えたのだろうか
- 2次 ①南北朝の動乱と室町幕府
②東アジアの交流
③産業の発達と民衆の生活
- 3次 解決:室町時代は自分たちにどのような影響を与えたのかを説明する



次は、課題設定・解決型の授業です。例として社会科の末森教諭が開発した単元を紹介します。

- 1次では単元を貫く課題を設定します。
- 2次では教科書を使いながら必要な知識や情報を習得します。
- 3次では単元を貫く課題を解決する流れとなっています。

具体的には、室町時代は現代社会にどんな影響を与えたのだろうかという単元を貫く課題を設定します。
2次では、南北朝の動乱と室町幕府、東アジアとの交流、産業の発達と民衆の生活を教科書を使って学習します。
3次では、室町時代は自分たちに、どのような影響を与えたのか説明する活動を設定します。

このようなスタイルは単元を貫く課題を設定し、解決に向けた学習を系統的に進めていくため、課題設定・解決型と呼んでいます。

17 開発した日比中授業スタイル3つの単元パターン

- ①導入パフォーマンス型
- ②終末パフォーマンス型
- ③課題設定・解決型



1つの教科に限定せず、様々な教科で活用



このように、開発した3つの日比中授業スタイルを1つの教科に限定せず、様々な教科で活用参考にしながら、授業研究を進めていきたいと考えています。この考えが、教科の壁を超えたカリマネにつながります。

おわりに 本校の考えるカリキュラムマネジメント



コアカリキュラム
『赤船祭・サバプロ』

↓
様々な教育活動が
絡み合うように展開

↓
主体的な学びの実現

キーワード

- 社会に開かれた教育
- 一人ひとりの自己表現
- 課題発見・解決学習

おわりになりますが、本日の発表では、この歯車の主な実践や研究を紹介してきました。

本校では、一つ一つの取組が相互に絡み合うことを意識し、教育活動を計画、実施しています。

生徒一人ひとりの成長のため、こうした取組を今後も継続し、カリマネを進め、教育活動の充実をはかっていきたいと思ひます。